



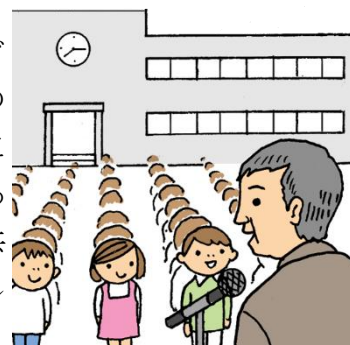
## 2学期が終わりました

12月23日（金）は、2学期の終業式を行いました。本校では、令和元年度3学期の始業式以来、約3年ぶりに全校そろって体育館での儀式を行うという記念すべき日となりました。また、校歌も、マスクを着けてではありますが、全員で大きな声で歌いました。世の中では、新型コロナウイルス感染症第8波と言われていますが、本校では、流行の気配はありませんでした。これも保護者の皆様が、毎朝、検温をする、風邪症状のある子の登校を控えるなどの感染症対策に努めていただいたおかげだと思います。ありがとうございました。

終業式では、冬休みを迎えるにあたって、私から子供たちに、2つのことをお願いしました。1つめは、年末年始はおうちの方も忙しいので家族の一員として家の仕事をしてほしいということです。2つめは、学校だよりの巻頭言にも書きましたが、新年を迎えるにあたって、「今年は〇〇〇な人になりたい」「今年は〇〇〇を頑張りたい」等の目標を立て、それを口に出してほしいということです。この2つを伝えましたので、子供たちの様子を伺い、家族の会話にしてください。



さて、やはり、対面で直接話ができるというのはよいものです。これまでのオンラインによる儀式では、子供たちがどんな顔をして聞いているのか（果たして聞いてくれているのか）分かりませんでした。また、カメラに向かって一方的に話をしているだけで、反応が返ってきませんので話がいがりませんでした。今回の終業式ではステージの上から、子供たちの様子を見ながら直接話ことができました。私の方を見てしっかり聞いてくれているのがよく分かりました。「全校の皆さん、おはようございます」と言ったら、「おはようございます」と大きな声が返ってきました。「〇〇〇してください」と言ったら、「はい！」と気持ちのよい声が返ってきました。行動制限がかけられてない今、世の中では大規模なイベントや懇親会等も行われています。学校も、コロナを恐れず、できるところから日常を取り戻していきます。



**『幸福感とは人それぞれ。多様性を認めるためには寛容性を伴わなくてはならない』**

いきなり何の見出しだと思われたかもしれません。12月21日（水）に「市長と語る会」という会合があって、市内の小中学校長と教育委員会事務局が市長の思いを

お聞きしました。その中で、私が一番心に残ったことが上のフレーズです。

最近、富山県でも『ウェルビーイング（真の幸せ・幸福感）』という用語が飛び交っています。人は誰でも幸せでありたいし、他の人にも幸せでいてほしいと願っています。しかし、価値観が多様であり、ある人には嬉しいことであるのに、別の人には残念なことであったり、ある人にはやってほしいことであるのに、別の人にはやってほしくないことであったりします。

学校も同じです。いろんな思いをもった子供がいます。保護者の価値観も様々です。教職員も一人一人違います。何かをしようとする時、必ず多かれ少なかれ賛否両論意見が分かります。しかし、学校は組織である以上、何かをするときには、みんなで話し合っ決めていければいいと思います。自分の思いが通ったときは幸せになり、思いが通らなかったときには不幸せになるのでしょうか？大切なのは「思いが通った人は、通らなかった人のためにできることはないか考える」「思いが通らなかった人は、いつまでも文句を言わず、気持ちを切り替えて、自分にできることをする」です。



みんなが同じ能力、同じ考えであれば、意見の食い違いは起こらず、けんかも起こらないでしょう。しかし、価値観が人それぞれ多様であり、自分にないものをもっている相手に出会うからこそ、新しい発見があり、新しい発想が生まれてくるものと思います。自分と違う考えを排除せず受け入れ合意形成すること、これが『寛容性』ということで、これがあるからこそ、様々な思いをもった人が集まる社会や組織が、よりよく成長していくのではないかと思います。

学校運営をしていく上で、大切だと思っていたことを再認識できたような気がした会合でした。

## 学校コンサートを行いました

12月13日（火）、富山県文化振興財団にご協力いただき、本校体育館で学校コンサートを行いました。ピアノと管弦楽器によるアンサンブルで富山県にゆかりのある5名の音楽家の方が来校されました。コンサートは、下学年と上学年の2回に分けて行っていただきました。私は、上学年の部を鑑賞させていただきました。



コンサートでは、ビゼーの歌劇「カルメン」から数曲、モーツァルトやショパンの曲等、子供たちの知っている曲が続きました。また、「みんなでつくる音楽ものがたり『〇〇〇のぼうけん』」と題して、子供たちに質問した回答を基に、その場で物語の内容を決めていく音楽劇のようなプログラムもありました。ここには、飛び入り参加で愛宕教諭や津田教諭が参加し会場を沸かせていました。プロの音楽家の演奏を生で聴けたこと、すばらしい表現力を間近で観られたことが、とてもよかったです。貴重な時間を過ごすことができました。

（校長 曲師 政隆）